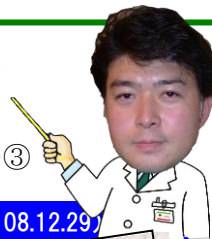


健康談話会のおさらい

直ぐそこまで来ている! **新型インフルエンザ** その③

⑦ インフルエンザ症状が出たら、「発熱外来」へ

新型インフルエンザによるパンデミック（世界的大流行）後に、急激な高熱・寒気・全身倦怠・関節痛等のインフルエンザ症状がみられた場合、**都道府県指定（三次地区ではパンデミック発生後直ちに市内数箇所を設置予定）の「発熱外来」**を受診していただくこととなります。

医療機関には病弱な方やご高齢の方などが多数来院されており、**新型インフルエンザの感染拡大の場**となってしまいます。「自分も新型インフルエンザではないか？」と不安になり医療機関に殺到することでパニックになることが十分に予測されます。そのため**例え普段からよく通院されているかかりつけ医であっても、一般の医療施設では新型インフルエンザ感染症の疑われる方の診察は出来ないことになっていますので、ご理解下さい。**（当院でも同様ですが、現在**電話対応**で最寄の「発熱外来」を紹介できるよう準備しています。）

実際のところ、ただの風邪なのか、通常のインフルエンザなのか新型インフルエンザの感染初期なのか、病院入り口で判別することは非常に困難で、パンデミック後最初の流行〔全人口の25%が感染〕期間（数ヶ月間）、**外来を休診する医療機関が出ることが予測されます。**当院もパニックを回避するために止む無くそうせざるを得なくなる場合もありますので、ご了承下さいませ。

尚、その際は、高血圧や糖尿病等の慢性疾患に対する薬剤やインスリン等の処方、腰痛・神経痛に対する鎮痛剤や湿布の処方 は当然のことながら継続が必要です。

- ①患者様から当院に電話していただき、
- ②病状に応じ発行した処方箋内容を当院から調剤薬局に連絡。
- ③患者様に調剤薬局で処方薬を受けとっていただき、または、薬局から薬を患者宅に郵送してもらう。

と、このように、当院を受診いただかなくても薬局から処方を受けられるよう検討しているところです。

⑧ 「発熱外来」受診後のながれ

少しでも早く「発熱外来」を受診されれば、感染が疑われた場合、抗ウイルス薬（タミフル、リレンザ）を早期に服用することでウイルスの増殖を防ぐことが期待されています。

全身状態に問題がないと医師が判断した場合、自宅にて療養することになります。既に高熱があり、全身状態が悪い場合は、指定の医療機関に専用の救急車にて搬送され入院することになります。広島県では、広島・福山市内指定病院に専用のベッドが用意されますが、満床になった際には、強力病院である市立三次中央病院・庄原赤十字病院で対応していただけることになっています。

⑨ 新聞に見る最新情報!! (産経新聞 08.12.29)

新型インフルエンザなど新しい感染症への脅威が高まるなか、神戸大学は平成21年4月にウイルス解析からワクチン開発、臨床試験まで一貫して研究する「感染症センター」を設立する。神戸大は、高病原性鳥インフルエンザの世界的な流行地であるインドネシアとウイルスデータ取り扱いに関する協定を結んでおり、センター設立で、同国発の新型インフルエンザへの迅速な対応が期待される。

センターは、ウイルスの遺伝子情報や感染のメカニズムなどを解析する基礎研究部門と、治療方法を研究する臨床研究部門で構成。インフルエンザや肝炎ウイルスの専門家に加え、院内感染防止や外科治療のスペシャリストも参加。さらに世界保健機関(WHO)の直轄研究拠点であるWHO神戸センター(神戸市中央区)や兵庫県健康環境科学センターとも協力する。

WHOによると、平成15年から20年12月16日までに、世界中で鳥インフルエンザにより247人が死亡。このうちインドネシアは113人と半数近くを占めている。

1960年代から同国と学术交流を続けてきた神戸大は現在、インドネシアのアイランガ大学熱帯病センターに拠点を置き、平成20年度から研究者3人を派遣し、鳥インフルエンザウイルスの共同研究を進めている。

新設する感染症センターでは、インドネシア現地の研究者と連携して、インフルエンザのみならず同国で感染者の多い肝炎ウイルスやデング熱などの予防薬、診断法、治療薬の新規開発に取り組む。

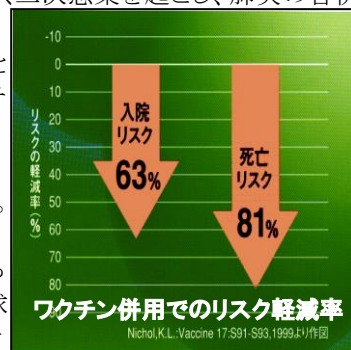
センター長に就任予定の神戸大大学院医学研究科の堀田博教授(微生物学)は「基礎から臨床までの専門家をそろえたセンターで、インドネシアでの成果を生かせば、感染症への対応が進む」としている。

⑩ 肺炎球菌ワクチン接種の勧め

肺炎球菌とはその名の通り肺炎を起こす菌の代表格なのですが、これはインフルエンザにかかってしまい体力(抵抗力・免疫力)が落ちた際によく二次感染を起こし、肺炎の合併を招くのです。

インフルエンザの予防接種と併せてこの菌に対するワクチンの予防接種をすることはとても有効であることは多くの医療機関が報告しています。

表紙の院長サンタがしょっているように当院では肺炎球菌ワクチンを実施していますので、ご希望の方は当院スタッフにご相談下さいませ。



神大に感染症センター
来年4月 新型インフル迅速対応